

令和7年度第2回旭川市音楽堂等運営協議会 会議録

- 【日 時】 令和8年1月15日（木） 午後6時30分～午後7時00分  
【会 場】 旭川市大雪クリスタルホール 2階 レセプション室  
【出席者】 委員：上野委員、杉江委員、内藤委員、福村委員、水野委員、  
倉田委員、仲島委員  
市側：吉川文化ホール担当課長、齋藤大雪クリスタルホール館長、競係員  
【傍聴者】 なし  
【会議資料】 ・令和7年度第2回旭川市音楽堂等運営協議会議案書

【会議要旨】

- 1 開 会
- 2 文化ホール担当課長挨拶
- 3 議 事  
「受益と負担の適正化」へ向けた取組指針に基づく大雪クリスタルホール使用料の見直しについて  
〈議 長〉議事について、事務局から説明願う。  
〈事務局〉議案書の資料に基づき説明。  
〈議 長〉議事について、意見等の発言を願う。  
〈委 員〉コスト算定についてではないが、受益者負担について、音楽堂は生活に必ずしも無ければいけないものではない。それを受益者負担とひとくくりにして利用料金を決めていくのはいかがなものか。  
〈事務局〉「受益と負担の適正化」へ向けた取組指針では、対象施設において、統一的な方法によるコスト算定や、施設の性質に応じて定めた利用者の負担割合に基づく、定期的な見直しをおこなうことによって、適正な料金を定めていくことを趣旨としており、これを変えるのは難しいと考えている。  
〈委 員〉改定後の使用料は概ね妥当な金額だと思っているが、貸室によって1.07倍や1.4倍と差があることについて説明願いたい。  
〈事務局〉令和2年4月の改定時は、舞台や音響設備に係る費用について、それらを備えた「コンサート室、大会議室、レセプション室、第1～第4楽屋、第2リハーサル室」と、それ以外の「第1リハーサル室、第1～第4会議室」で、対象コストを分けて使用料を算出していたが、今回の改定では、貸室ごとにコストを分けずに、全ての貸室一律としたため、約1.4倍の上昇となった貸室と、約1.07倍の上昇となったものに分かれている。  
〈委 員〉先ほど人件費の上昇もコスト算定に影響しているとの説明があったが、それは清掃など委託事業者の人件費のことか。  
〈事務局〉委託事業者と市職員の両方である。  
〈委 員〉市職員の人件費は市の予算に組み込まれているのではないか。これをクリスタルホールのコストに含めることや、市職員の給料が上がったから、使用料を上げるのはおかしいと思う。  
〈事務局〉クリスタルホールには4人の職員を配置しており、運営に関わる市職員の人件費も対象コストに含まれる。人件費だけでなく委託業務の委託料や光熱水費も市の予算であり、施設を運営するためにどれだけの費用がかかっているのかを算定コストとしている。  
〈委 員〉先ほどの、貸室ごとに改定率に差が出る点についてもう少し説明が欲しい。  
〈事務局〉コンサート室や大会議室などには舞台や音響・照明の操作やそれらの設備の保守点検等のコストがかかっており、一方で小会議室にはかかっていないため、前回改定時には舞台等の設備に係るコストを貸室ごとに分けて算出していた。今回も同様に舞台等のコストを分けて算出することを検討したが、そうすると改定率

はほぼ等しくなるが、面積が広い貸室は必然的に改定額が大きくなることから、これを抑えるため、全ての対象コストを各貸室均等に適用した改定案とした。

〈委員〉肯定的な意見として、今回の改定は妥当と思う。クリスタルホールは駐車場も無料でありとても使いやすい。もっと利用率が上がるように、利用者が催事の年度計画を立てやすいよう小会議室の申請受付時期の見直しも検討してほしい。

#### 4 その他

〈議長〉事務局、委員より何かあるか。

～意見等無し～

#### 5 閉会